

日本インベスター・リレーションズ学会
スタディー・グループ

企業価値に貢献する統合開示モデルの 研究

最終報告

2012年3月

日本インベスター・リレーションズ学会

■日本インベスター・リレーションズ学会

分科会設置期間 2010年4月～2012年3月(2年間)

「テーマ」 企業価値に貢献する統合開示モデルの研究

分科会委員 座長 伊藤 邦雄(一橋大学教授)

委員 伊藤 健頭(一橋大学特任講師)

〃 加賀谷哲之(一橋大学准教授)

〃 金 鉉玉(東京経済大学准教授)

〃 鈴木 智大(亜細亜大学専任講師)

〃 円谷 昭一(一橋大学准教授)

〃 田中 優希(一橋大学大学院博士後期課程)

〃 高橋由香里(一橋大学大学院博士後期課程)

本報告書をまとめるにあたっては、日本IR学会・スタディー・グループ助成金、一橋大学に設置された味の素CSRプロジェクト研究助成、一橋大学大学院商学研究科を中核拠点とした文部科学省のグローバルCOEプログラムで設置された日本企業研究センターからそれぞれ支援を受けた。記して深く感謝したい。

目次

第1章 企業価値に貢献する統合開示モデルの策定に向けて	…… 1
	伊藤邦雄・加賀谷哲之
1 なぜいま統合開示か	
2 ギャップを埋める制度改革	
3 統合と革新の方向性	
4 日本企業の情報開示の実態	
5 本報告書の構成	
第2章 統合開示モデルにおける将来予測情報 —業績予測に焦点を当てて—	……23
	円谷昭一
1 IR における業績予想情報の活用実態	
2 IR 担当者が考える課題	
3 業績予想と市場の反応	
4 業績予想バイアスと近視眼的経営	
5 統合報告開示モデルにおける将来予測情報のゆくえ	
第3章 積極的な予想と保守的な予想、投資家はどちらを好むのか	……29
	鈴木智大
1 はじめに	
2 先行研究の整理	
3 検証課題の設定と分析の枠組み	
4 サンプルとグルーピング	
5 実証結果	
6 まとめ	
第4章 情報システム、情報セキュリティとその開示が企業価値に与える影響	……53
	加賀谷哲之・金鉉玉
1 はじめに	
2 先行研究	
3 日本企業のITシステム、セキュリティと開示の特徴	
4 研究デザイン	
5 検証結果	
6 まとめ	

第5章 環境報告書の継続開示効果	……73
	田中優希
1 はじめに	
2 先行研究	
3 仮説設定	
4 リサーチ・デザイン	
5 検証結果	
6 追加検証	
7 まとめ	
第6章 持続可能な価値創造のためのESG報告	……85
	加賀谷哲之
1 はじめに	
2 ESG 情報と企業価値の関係性をめぐる先行研究	
3 ESG 活動と情報開示をめぐる日本企業の取り組み	
4 まとめ	
第7章 日本企業におけるMD&A 情報開示の実態	……101
	伊藤健顕
1 はじめに	
2 米国および日本のMD&A 情報開示制度	
3 MD&A 情報の分類項目と対象企業	
4 MD&A 情報開示の実態	
5 日本基準採用企業とSEC 基準採用企業の比較	
6 まとめ	
■IFRS 時代のディスクロージャー戦略に関する情報開示担当者に対する意識調査	……107